

大分県要約筆記サークル

陽ざしの会

第 78 号

発行日 平成 27 年 11 月 21 日

発行所 大分県要約筆記サークル
「陽ざしの会」

発行者

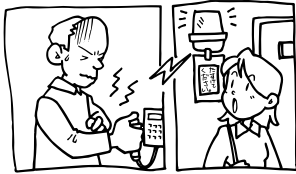
事務局 野上 千賀子

(Tel 097-532-6850)

(HP <http://hizasi.web.fc2.com>)

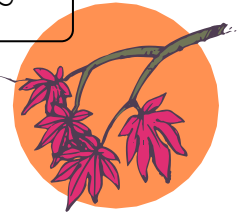
人と世のために

～病院の情報バリアフリーを～



『中園秀喜さんをお迎えして』

久松久仁子



お互いの立場を思いやって

「わかる」「わかる」「わかる」「わかる」

当たり前ですが、「聞こえる人」「聞こえない人」では情報の入手方法に違いがあります。「肢体障がい者」「聴覚障がい者」の配慮にも違いがあります。

中園さんは3年前に人工内耳を施術したものの、「ことば」ではなく、「音」としてわかる程度にとどまったとのことでした。

しかし、ただ「音」だけでも電話やチャイムの音が分かり、自立を助け家族の負担が減り、大きな進歩と考えている、と話されました。人工内耳は万能ではないと、身にしみて感じていらっしゃるのでしょうか。

手話や要約筆記は、人工内耳を着けても必要であると話されました。

医療関係者へのメッセージとして、人工内耳のプラス面だけではなく、マイナス面もきちんと説明してほしいことや、医療の進歩のすごさの一方で、聴覚障がい者が不便であると分かっているハズの医療関係の施設が、実は一番不便であるという事実を認識してほしいなど、全員の心に響きました。

「聞こえることが当たり前」の世の中では、聴覚障がい者は不便なことが多いはずです。

中園さんのお言葉にあるように

「一度しかない人生を大切に、人と世のために道作りの人になって欲しい。生まれてきて良かったと言えるような人生になるようにお手伝いください。」

「そうだった」と気付かされました。



中園さんのご自宅からの送迎を担当しました。

移動中、色々お話をしましたが、中園さんの人柄を感じることができました。

いつもどんな時も、聴覚障がい者の役に立ちたいとの思いからか、「これは役に立たないかな。あれは企画にできないかな。」と、ポロっと呟いていて、頭の片隅に常に意識しているのを感じました。

尋ねてみたところ、「いつも考えているんだけど、皆は興味ないみたい。」と少し寂しそうでした。

「どうやったら聴覚障がい者に目を向けてくれるかなあ。」とさらに尋ねると、「何をしても、役に立つことや、物が無いかを考えてる。」との返答が返ってきました。

スゴイ人だなあ。ただただ、感服です。

平成 27 年度 第 1 回 登録要約筆記者研修会

7月19日(日) センタースタジオに於いて今年度1回目の登録研が開催され、当会・陽だまりの会(佐伯)・まなざし(中津)より約20名が参加しました。

午前中のメインは「『時間短縮での設定について』グループ討議」で、緊急の場合にどのように対処すればよいかを話し合いました。情報保障を開始に間に合わせることを最優先に考え、責任者でなくても機敏に行動すること・事前準備の大切さなどを確認しました。午後からは、事例検討及び難聴者協会 岩田さんより派遣事業の現況・派遣の留意点などについて説明を受け、終了となりました。



※第2回 登録研は
平成28年1月31日(日)です

【感想】家庭の事情で午後からの事例検討に参加しました。パソコン要約筆記では、講師の話が聞きとれなかった場合、開始前に了承を得ておいた上で、「***」と表記することも可能だときちんと資料で目にしたのは初めてでした。他にも、要約筆記者2年目私の知らない「ローカル(地方)ルール」があればそれを確認できる一覧表みたいなものが欲しいなと感じました。派遣の現場で生じた疑問点、問題点を共有できる機会が年に2回の登録研だけだとしたら、これに参加できないマイナスはとて大きいので次回もなるべく参加しようと思います。
(朝木 由美子さん)

～その他の行事～

ビアガーデン(7月4日)大分フォーラス屋上

料理もビールもおいしかったのですが・・・雨の中でしたので楽しさ半減？ではなかったですよ。楽しかった。4人の参加なので少し寂しかったです。(三重野 真由美さん)



梨狩り(9月17日)由布市庄内町 小野農園

少し雨が降ったのは残念でしたけど、梨はとっても甘くて美味しかったです。園内は食べ放題なのに少ししか食べなかったからもっと食べれば良かったです。とっても楽しかったです。
(仲摩 由美子さん)



イエローレシートキャンペーン

(毎月11日)イオン高城

引き続き皆様のご協力をお願いいたします!



秋の交流会～高崎山・地獄蒸しツアー～

11月1日に行われた秋の交流会バスハイク、高崎山も地獄蒸しも体験したことがなかったのと、偶然にも休みが取れたので、初参加してきました。晴天がずっと続いていたのに、当日だけは雨の予報。「雨だけは降らないで。」と願いつつ、集合場所の大分駅から少し遅れて出発。別府北浜で合流の後、目的地の高崎山到着。今年の参加者は、「ACITA」「夢サラダ」「難聴者協会」の3団体からの参加も含め、全員で21名。会長代行野上さんの挨拶、企画部部長小野さんの説明の後、一人ずつ自己紹介。さて、地獄蒸しへと逸る気持ちをぐっところえ、高崎山へ。



さるっこレール組と徒歩組に分かれて、入山。

少し急な登りでしたが、歩くこと数分。

ちょうど餌の時間だったようで、おやつのお麦に群がるお猿さん達。

スタッフの説明を聞きながらノートテイクをしていると、「マイクを通した声だと聞きづらいんですよ。書いてもらうとよくわかります。」と言われ、ペンを持つ手にも気合が入りました。



さあ、次はいよいよ地獄蒸しです。お腹をすかせて地獄蒸し工房に着きましたが、混雑のため30分待ちとのこと。待ち時間を利用して、足湯へ。足蒸し風呂もあり、それぞれ楽しみました。



地獄蒸し工房では、4名ずつのグループで蒸し釜一つ。

卵、野菜、海鮮、芋類と内容も充実。蒸しあがる時間が待ち遠しい！最初は卵。ああ、絶妙の蒸し具合。次は海鮮と野菜。野菜って蒸すと甘さが増すんですね。最後の芋類の頃には、もうお腹一杯。地獄蒸しを堪能し、楽しい時間が終了したのでした。

最後に難聴者協会の保原会長さんから、「このバスハイクは楽しいイベントで、毎年楽しみです。」というお言葉をいただきました。

また、来年も楽しい企画、お願いします。



森崎裕香子会長 逝去



去る平成二十七年九月二十五日、病気療養中の森崎裕香子会長が、入院先の大分県立病院にて、ご逝去されました。

呼吸困難により、九月六日から入院されていたのですが、ご家族も最期に間に合わないほどの急変だったようです。

葬儀もしめやかに行われ、ご列席されて、お別れをされた方もいらっしやると思います。

今回の広報誌では、内容を急遽変更し、故森崎会長の追悼特集をお送りいたします。

親交の深かった方々に追悼のことばをいただいております。また、陽ざしの会にて、追悼の会も行いましたので、あわせてご報告を申し上げます。

紙面上ではございますが、森崎会長を偲んでいただければと思っております。

合掌

追悼の会

10月17日、県社会福祉会館内で森崎会長の「追悼の会」を行いました。行事と重なり派遣もあって参加者は13名でした。

普段は聞けない森崎さんのお話の数々を聞くことができ、悲しいやら楽しいやら....

「いいんよ、ほどほどで」「成るようにしかならんやけん」

「犬は犬なりに猫は猫なりに」

「心配せんでいいんよ何とかなるんやけん」と、森崎さんのあの独特な笑い方で無邪気な明るい声が聞こえてきそうでした。

まだまだお話したいこと、お聞きしたいことはたくさんあったと思いますが、いつかまた、このような機会があったらいいなあと思いました。

久松久仁子



～森崎 裕香子さんへ捧ぐ～



希求森崎会長 保原直猛

私ども難聴者が大きな会合や私的な個人個人の間で、健常者と殆ど変らぬ振舞ができるのは言うまでもなく要約筆記者のお陰です。大分の地ではそれは陽ざしの会でした。その陽ざしの会を森崎さんは引っ張っていかれた。草創期の児玉先生の意志をそのまま現在の陽ざしの会たらしめています。いやよう近代化(?)にも進んで大きくしていかれています。

その陽ざしの会即ち森崎さんです。思い出や讃辞は山程ありますが、そのほんの一例をあえて申し上げますと、彼女の大きさというか屈託のなさはすばらしいものでした。私どもはその幅広い言辭、性格をどれ程希求してきたろうか。難聴者協会恒例「茶話会」では、彼女は要約筆記がてら必らず参加してくれました。常連といえば言葉がわるいが、茶話会で話が少し淀んでくることがあります。その時さっと彼女のご登場で皆ホッとして陽気になったものです。彼女の屈託のなさ、それは天下一品でした。思い出はこころばらく尽きないでしょう。森崎さんありがとう！

森崎様への追悼文 児玉幸代

森崎さん！森崎さん！何度お呼びしても、あのお元気で明るいお返事は返って来ません。こんな悲しい事ってあるでしょうか。

あまりにも突然な事なので、私はすぐに事務局の野上さんを電話でお呼びし、いろいろとお聞きして、やっと事情がわかりました。あとで野上さんに、ずいぶん自分勝手なことばで、口早にお聞きしたことの失礼さを心からお詫びしましたが、本当に考えられない程の衝撃でした。

お聞きしたお話の内容では、二年程前から、あなたは、ご病気で入院をされたこともあり、お体の調子はあまりよくなかったそうで、私は本当に驚きました。だって、いつも私との電話の声は、明るくお元気でご病気があったことなど全く気づかず、又会員の方からもそんなお話はなかったので、実は、うらみに思った位です。でも、これまでのあなたの心情や、心構えを大切に、あなたの生き方に敬意を新たに、あなたへの思い出を書きたいと思います。

あなたは、平成六年七期生として、陽ざしの会に入会、講座生の時も目立って熱心で、その後の活動を楽しみにしていました。



入会后、すぐに会計係り、学習会にも熱心で、当時派遣の筆記は、慣れないと大変むずかしく大変でしたが、進んで先輩に学び、積極的に活動を続ける人でした。

年を経て、私も会長をやめ、その後、河野キヨさんの事務局として活動。河野さんのあと、会長として今日まで 頑張ってきた、森崎さん！

本当にご苦労様でした。これからは、慈愛に満ちた仏様の国で、安らかに過ごして下さいませ。

本当にありがとうございました。

陽ざしの会会員一同心から感謝いたします。

森ちゃんへ

森ちゃん、何で私より先に逝ってしまったんですか。思えば児玉前会長より引き継ぎ、あなたにバトンタッチしたのはいつだったでしょう。

何処に行くのも車に乗せてもらい遠出もしましたね。また四季折々の花や草花を摘んできて来てくれましたね。

犬や猫、鶏、拳句の果ては猪が竹の子を喰べに出て来る話。また家に来るお針子さん達の送り迎えするやさしさ今でも忘れません。

私の大苦言も素直に受け止めてくれましたね。お互いに過酷な大会や歴代の難聴者と共に成長させてもらいましたね。

今年の例会の帰りに色々話し合った事が、今思えば最後の会話となってしまいました。



でもね、お別れに駆け付けた時はまだそのまま、私は涙が溢れてあなたの顔を見る事が出来ませんでした。

同士として長い間お付き合い、ただ茫然として振り返っていますよ。あなたの笑顔は永遠に忘れないでしょう。

森ちゃんのご冥福を心よりお祈り致します。

河野キヨ



全難聴九州ブロック長来県

「二次会、どこに連れて行こうか」「同級生の店にしよう」「いらっしゃい、裕香子ちゃん」
「ママ、カウンター前のイス、いつ来てん足がブラブラするわあ〜」

傾聴・交流分析

「8万も出して、よ〜そんなん勉強するなあ〜」「面白いで〜」
・・・そういえばいつも私のぐち聞いてくれたなあ〜。

出会って20数年、
週1回の電話ができなくなって寂しいよ〜

池邊恵子

み〜んな

森崎裕香子さん



東京での研修会

「どの線に乗ればいいかな」路線図とにらめっこ。「わかったで〜、山手線が速いって」即行動、スタスタ、チョコチョコするあなた。

着物の仕立て

お弟子さんなんにどうして送迎するん？」「足がないんよ、どうせ毎日トキハに顔出しするからついででいいんよ」

民生委員

「病気もあるんで、無理せんほうがいいよ〜」「他に引き受けてくれる人、いないしなあ〜」「訪問するの、きつくない？」「うん、坂道がちょっとな」お腹を押さえながら弁当配り。

森崎さんに感謝です

9月25日森崎会長にお会いしました。今にも笑顔で話しかけてくださるご様子。信じられません。すがすがしく、やさしい森崎さんの死顔に対面しました。私にとって陽ざしの会に入って25年余のうちで一番悲しいことでした。

森崎さん8月の例会後、中園秀喜さんの講演会ポスターを森崎さんに依頼されて社会福祉協議会と支所に貼りましたよ、中園さんの講演会終了後、彼と聴覚障がい者と私とでたくさんのトークをしましたよ。今も聴覚障がい者の病院同行業務、生活介護、ヘルパー業務でほぼ毎日要約筆記させていただいています。

できることをできる時にできるだけこれからもやっています。これからはずーっと陽ざしの会を見守っててください。

森崎さんは私の心のよりどころでした。ただ、ただ、「感謝」、「感謝」のことばだけです。

森崎さん、ありがとうございました。



小野立子



森崎さんへ追悼のお手紙

森崎さん、どうしてですか？そちらの暮らしに慣れましたか。

身体の痛みからも解放され、少しはゆっくりできていますか。

わたしはね、森崎さんがいなくなったことが、まだ実感できていませんよ。時々夢も見ます。



出会って12年。そのころ、車の運転ができず、電車とバスで夜の学習会に通う私を心配して、「帰りはどうするんかい？駅まで送って行くで」といつも声をかけてくれましたよね。まだ入会して間がなく、なんとなく心細かったころ、そうやって声をかけてくれることが嬉しくて、学習会に行くことがとても楽しみでしたよ。

いつも別府から通う私と藤田さんのことを気にかけてくれて、「元気かい？無理はするなえ、今度飲みに行こうか、おいしい焼き鳥のお店、見つけたから」と誘ってくれる声が今も聞こえる気がします。ビールで乾杯し、焼酎を飲みながら、「そうかえ、そうかえ」と笑いながら話を聞いてくれることがすごく心地良かった。何度も行きましたよね。楽しかったよね。

楽しみにしていた梨狩りに行けなかった私に届けてくれた梨の味、甘くて最高でした。

近頃、夜空の星を見ることが多くなりました。見上げると「元気かえ、飲みに行くかえ」という声が聞こえてきそうです。また、行きたいね。

大好きな森崎さん、ありがとう。

磯田ひろみ

森崎さんの思い出

「死ぬ気がせんのやわ」と言っていた森崎さんに私も「そうやなあ」と思っていました、とうとう森崎さんをお送りすることになりました。

文金高島田にご自分で縫った白無垢を着た60歳直前の森崎さんの花嫁姿の写真を見せてもらった時の驚きや、神戸の駅だったかで椿の苗木を2~3本買った時にどうやって持って帰るのかと見ていたら振り分け荷物にして肩にかけて持って帰ったことなど思い出は尽きません。



花は枝から手折ったままをポンと挿し、鋏は入れない。「犬は犬なり、猫は猫なり」とよく言っていました、言葉通り自然体（流）であったと気付かされます。「80歳は生きると思う」というご自分の描いた人生設計より少し早くなったけれど「森ちゃんおつかれさま、楽しかったね。ゆっくりしてください」

今、森崎さんにもらった茶の木に白い花がいっぱいです、今年からこの白い花が私の大切な花のひとつになりました。

太田和江



「陽あつきの花嫁」

会への思い (KOGI)

星 素代

ふと、目をあけた私に、ふたりの子どもは泣きながら抱きついて来ました。いつも父の往診をして下さる先生が、穏やかなお顔で私を診察して下さい、「もう大丈夫。」と子どもに告げました。

私は、再度事の重大さに驚き、悲しんでいる事もできず、親戚や地区の方々をお願いして、葬儀の準備をすすめました。当時は、現在のように葬儀社が無かったので、いろいろと皆様のお蔭で無事に自宅を葬儀をすすま事ができました。

その後、教育庁から、私にすぐ復職するようにと推薦されました。私は、もう一度あの教室に帰られたならどんなに嬉しいかと、一瞬胸を熱くしましたが、はやる気持ちを押さえ、やはり父に付き添うことにしました。

私の行動を気に欠けていた父は安心したのか、毎日のリハビリにも頑張り、ベッドから起きて、椅子に腰かけるまでに回復できました。しかし、父から目を離す事はできない。よし、私の教室は、ここしか無い。当時、ラジオの番組に、「基礎英語」「続基礎」と題して、テキストを購入して学習すれば、解り易い番組のある事を知って、学生時代から好きだった英語の勉強を始めました。その外、ラジオやテレビの番組で、内容が良く残しておきたいと思うものは、ノートに筆記しておきます。毎日、自分でも書くうちに、文章の要約の方法がわかり、書きながら、新知識を知る喜びで楽しい時間になりました。

編集後記

今回は急に記事をお願いした皆さんに助けていただき、印刷にこぎつけました。感謝です。

原稿は余裕で完成するはずが、記事を確認で読んでは涙涙・・・原稿の確認で読んで更にもらい泣きの状態で中々進まず。ちょうど花粉症と重なって私の鼻は、たいへんな事になりました。あつという間にもう秋も終わりますね。そろそろ湯たんぽ、準備しておこうかな。

感謝 縁に逢った